

寛大

「寛大」の美德は、「私は寛大です。私は与え・分かち合う機会を探し、そのための時間をたくさんとります。私は自由に、目いっぱい喜んで与えます。」ということです。では、どのように与えていくことが寛大さになるのでしょうか。

寛大とは、与えることであり分かち合うことです。自分のもっているものを与えるチャンスが見えたら、ただ自分の喜びのためだけに与えることです。そこでは、見返りを考えずに自由に分かち合います。例えば、与えることで自分を良く見てもらいたいという思いは、必ず互いの関係を崩してしまいます。

そこで、自分が持っているものを分かち合うため色々な方法について考えます。人を幸せにするために、色々なことを実行します。人が必要としているものについて考えます。それは品物だけ分かち合うのではありません。例えば、頼まれれば自分の時間を分かち合い、聞かれれば自分の考えを分かち合うことです。

そして、自由に目いっぱい自分のものを与えるというのは、とても気持ちの良いものです。それによって、自分にはすべての人に対して与えられるものが十分にあると自覚できるのです。例えば、自分が自由に与えたために犠牲がはらわれるとき、自分の精神はより大きな自分へと成長します。

寛大であることは愛情を示す最良の方法のひとつです。そして、ある一人の人が寛大さを発揮すると、他の人たちも寛大でいたいと思うようになっていくものなのです。